

道路を守り都民の生活を支え続ける道路の維持管理

道路の点検

巡回点検

- 通常巡回
計画的に実施する日常点検であり、主として路面、構造物及び附属物の損傷状況等を把握するための巡回です。
所管区域の全路線において実施しています。
- 異常時巡回
台風・集中豪雨、降雪、地震等の異常気象およびその他道路交通に支障を与える状況が発生し、又は発生する恐れがあるときに実施しています。



道路の維持・修繕の主な内容

- 路面の維持
わだち掘れやひび割れの解消、落下物の除去などを行っています。
- 側溝しゅんせつ
側溝清掃車を用いて、道路上の雨水排水機能を担う側溝のつまりを解消しています。



- 街灯の維持
ランプ・配線・安定器類の取替、ポール改修、灯具清掃などを行っています。



- 路面清掃
ロードスリーパー及び人力作業により、夜間に実施しています。



- 交通安全施設の維持
防護柵、点字ブロック、標識、反射鏡の補修・清掃など行っています。



- 沿道除草
雑草が繁茂する4月～10月にかけて、除草作業を実施しています。



道路の維持・修繕の効果

路面・街灯・交通安全施設の維持・修繕による効果

道路及び附属物の機能が確保され、利用者が安全に通行できます。



車道照明は、路線に応じ、平均路面輝度0.5～1.0cd/m²を確保しています。



反射鏡は、鏡面の清掃により視認性を確保しています。

側溝しゅんせつによる効果

雨期前に側溝しゅんせつ作業を実施することにより、適切な排水機能を確保することができ、局地的豪雨においても、道路冠水を防止できます。
(時間雨量50mmを想定した排水機能を確保)



しゅんせつ実施前
泥土が堆積し、排水機能が失われています。



しゅんせつ実施後

豪雨時 しゅんせつ未実施箇所



冠水が発生し、交通機能がマヒしています。
とても危険な状況です。



豪雨時 しゅんせつ実施箇所



雨期前にしゅんせつ作業を実施したため、排水機能を発揮しています。



路面清掃による効果

- 交通事故発生原因となる異物を排除することで、道路利用者が安全に通行できます。
 - 道路の汚れによる沿道環境の悪化を防ぐことができます。
- ※落葉期(11月～1月)には、大量の落ち葉が集水ます等を塞ぎます。冠水を防止するためにも路面清掃は重要な役割を担っています。



清掃前

落ち葉により集水樹が塞がれています。



清掃後

沿道除草による効果

歩行空間を阻害する雑草を除去することで、歩行者が安全に通行できます。



除草前

雑草で歩行空間が阻害されています。



除草後

歩行空間が確保され、排水機能も回復しました。